

数学

筑波大学 (前期) 1/2

<全体分析>

試験時間

120分

解答問題数 2題 または 4題

解答形式

全問記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少)・やや減少・変化なし・やや増加・増加

難易 (易化・やや易化・変化なし)・やや難化・難化

総出題数6題は変わらないが、理系は昨年まで5題選択であったものが本年は4題選択に減少した。

出題の特徴

理系は数学ⅠⅡA Bの3題のうち2題と、数学Ⅲの3題のうち2題の合わせて4題を選択解答。標準的な問題が出題される。

その他トピックス

募集要項では「数学Ⅰ、数学A」が出題範囲に追加されたが、従来から「出題の前提」とされていたものを明記したものであり、注には出題範囲は従来と変わらない旨が記されていた。本年は選択問題の間の難易度の差が大きかった。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]	図形と方程式	数学Ⅱ	2円が外接する条件。 2円の共通外接線の交点。	やや易
[2]	三角関数 高次方程式	数学Ⅱ 数学Ⅱ	$t = \sin\theta + \cos\theta$ とし、 t の4次方程式を解く。	やや易
[3]	空間ベクトル	数学B	平面に下ろした垂線の足が三角形上にある条件。	標準
[4]	微分法・積分法	数学Ⅲ	2曲線が接する条件。自然対数の底 e の値の範囲を用いて不等式を証明。	やや難
[5]	関数の極限	数学Ⅲ	扇形の面積に関連した極限計算。	標準
[6]	複素数平面	数学Ⅲ	線分上を動く2つの複素数の平方が一致する条件。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

基本事項をしっかり理解し、教科書の章末にあるような標準的な問題を確実に解答できる実力を身につけることが重要である。標準的な問題が出題の中心で、高得点での競争となる可能性も考えられる。ミスなく確実に得点できるよう練習を積んでもらいたい。

数学

筑波大学 (前期) 2/2

(別紙)

- 1 問題冊子は1ページから11ページまでである。
- 2 受験者は、志望する選抜区分または学類の解答すべき科目を下表で確認のうえ、解答しなさい。国際総合学類及び障害科学類は選択した科目を解答すること。
- 3 問題番号に対応した解答用紙を使用すること。指定された解答用紙以外への解答は採点しない。

選 抜 区 分・学 類	出 題 科 目		備 考
	数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学A・数学B	数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学Ⅲ・ 数学A・数学B	
総合選抜	文 系	◎	◎印の科目を解答
	理系Ⅰ, 理系Ⅱ, 理系Ⅲ		◎印の科目を解答
学類・専門 学群選抜	社 会 学 類	◎	◎印の科目を解答
	国 際 総 合 学 類	○	○印の中から1科目を選択解答
	教 育 学 類		◎印の科目を解答
	心 理 学 類		◎印の科目を解答
	障 害 科 学 類	○	○印の中から1科目を選択解答
	生 物 学 類		◎印の科目を解答
	生 物 資 源 学 類		◎印の科目を解答
	地 球 学 類		◎印の科目を解答
	数 学 類		◎印の科目を解答
	物 理 学 類		◎印の科目を解答
	化 学 類		◎印の科目を解答
	応 用 理 工 学 類		◎印の科目を解答
	工 学 シ ス テ ム 学 類		◎印の科目を解答
	社 会 工 学 類		◎印の科目を解答
	情 報 科 学 類		◎印の科目を解答
	情 報 メ デ ィ ア 創 成 学 類		◎印の科目を解答
医 学 類		◎印の科目を解答	
医 療 科 学 類		◎印の科目を解答	

数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B

6ページから11ページの問題〔1〕～〔6〕について、以下の表のとおり問題を選択して解答すること。定められた問題数以上に解答した場合、採点しない。

数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B

2ページから4ページの問題〔1〕～〔3〕について、以下の表のとおり問題を選択して解答すること。定められた問題数以上に解答した場合、採点しない。

問 題	選 択 方 法	備 考
〔1〕	いずれか2問を選択し、 解答しなさい。	計2問に解答すること。
〔2〕		
〔3〕		

問 題	選 択 方 法	備 考
〔1〕	いずれか2問を選択し、 解答しなさい。	計4問に解答すること。
〔2〕		
〔3〕		
〔4〕	いずれか2問を選択し、 解答しなさい。	
〔5〕		
〔6〕		